



# ふるさと

# ウォッチング

5/3

健やかな成長を願い

## 子安観音祭り



公園まで歩き、多くの参拝者とともに子安観音の供養を行いました。

吉田公園の六角堂に安置してある子安観音像は、吉田町出身の彫刻家内藤伸氏が大正14年に制作したものです。

沿道は、かわいい稚児をカメラやビデオに収める保護者や祭りのフットコンテストへの出品をめざす写真愛好家など、大勢の人でにぎわっていました。

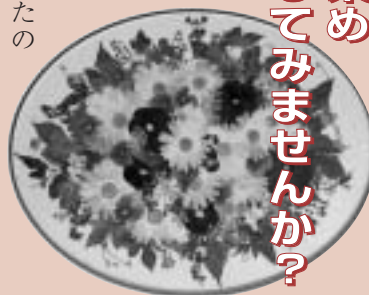
また、稲わら工房前の特設会場では、吉田中学校吹奏楽部の演奏や特産品の販売などもありました。



5/3

山の幸染め

してみませんか？



木次町の健康の森管理棟で、草花や鳥の羽を使った山の幸染め教室がありました。

この教室を開いたのは、木次町東日登在住の影山和美さん。自然の素材を利用した染色技法に興味をもち、1年前から創作活動を続けてきました。

この染色は、カラーマットと呼ばれる染料の付いた紙とアイロンを用い、布を染めていくもので、自然の色を活かした作品は色落ちせず、手軽にできることから近年人気を集めています。

また、影山さんは定期的に押し花教室も開いており、その教室で創られた作品は、現在、健康の森管理棟に展示してあるほか、6月からは山の幸染めによる作品も展示される予定になっています。

6月には暑中がき用の山の幸染め教室なども開かれますので興味がある方は健康の森 ☎42・2623までお問合わせください。

5/15

五百万石

花田植え



掛合町では、ふるさとの酒を造る会や人間はやしこ振興会、小学校・公民館などの団体が地域一体となり、ふるさとの農耕文化「花田植え」の保存・伝承活動に取り組んでいます。

さわやかな五月晴れの下、酒蔵資料館前を出発した神職や囃子、早乙女らおよそ40人は、途中、介護老人福祉施設「えがおの里」前で囃子を披露。水田に到着すると神事に続き、早乙女たちが田植え囃子に合わせ手際よく、手植えを行いました。

あぜ道や沿道には多くの家族連れなどが訪れ、初夏の心地よい風を受けながら、さかんに拍手を送ったり、写真撮影をしたりしていました。

この花田植えによる酒米は、ふるさとの酒を造る会のメンバーらによって、にがり酒として醸造される予定になっています。



5/14

第2回国際交流

## 親善サッカー大会



国際交流親善サッカー大会が三刀屋町明石緑ヶ丘公園で開催されました。

この大会は、中国5県に在住する国際交流員の親睦を目的に昨年からの開かれているもので、県別の代表と外国人女性だけの合わせて6チームが出場し、スポーツによる交流を深めました。

大会で汗を流した後は、交流員の出身国のデパートづくり、外国から見た日本・島根県に関するクイズ大会、ライブ演奏による交流パーティーなどたくさん催しが行われました。また、晴天に恵まれたこともあり、交流員以外にも多くの人が訪れ、外国人と地域住民との国際交流にもつながる大会となりました。



5/2

新茶摘みが最盛期



部武雄組合長）の組合員による新茶の刈取りが最盛期を迎えています。

同組合で管理する茶畑は7.7haあり、この刈取り作業は、天候にも影響されますが、概ね5月下旬まで続きます。

内部組合長は「今年の新茶は上出来。昨年よりも多い3万2kgの収穫を見込んでいます。また、最近では地域の若い世代も茶摘みに協力してくれる助かります」と話していました。

市内最大の茶処「砂子原」で収穫された一番茶は、蒸熱・乾燥などの工程の後、5月中旬頃から市内の店頭にもお目見えします。



5/9

青空の下



田植え体験

市内の各小学校で田植え体験が行われ、このうち大東町の西幼稚園と小学校では、児童ら合わせて240人が手植えに挑戦しました。

西小学校では、田植えから稲刈り、収穫祭までの農業体験学習に昨年取り組んでおり、子どもたちは、ばびきによる目印の箇所へ、地域の人から指導してもらいながら、ていねいに苗を植えていきました。

「ヒルにかまれる」、「足が抜けない」など大声をあげる子どもたちもいて、終始にぎやかな雰囲気作業を終えました。

今回植えた水田は、近くに住む見玉朝市さんが管理を行い、5月中旬から8月上旬までは、除草・害虫防除のために約50羽のアイガモを放すことになっています。

